

法人（事業所）理念		○子どもたちと未来を創っていきます。 ○ひとりひとりの個性を大切にします。 ○充実した「遊び」と「療育」を行います。 ○笑顔を咲かせます。	支援方針	○お子様の気持ちに寄り添って、一緒に様々な活動を楽しみながら、少しずつ社会のルールやマナーを習得していただけるように支援を行っていきます。 ○お子様子の「個性」や「できること」を大切に居場所を提供し、自立を積み重ねることで、将来的な暮らしや働くことへの自立へとつながるよう支援を行っていきます。
営業時間		9 時 30 分から 18 時 30 分まで	送迎実施の有無	有
支 援 内 容				
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ●健康管理。 ●食事・整容・排泄・着脱・清潔・片付け等、身辺生活の自立。 ●クッキングやお買い物学習等の活動を通して基本的な生活スキルの獲得。 ●季節の行事。遠足、お出かけ。 ●地域資源の利用（公園、体育館、図書館、児童館、飲食店、郵便局、動物園、水族館、娯楽施設等） ●交通ルール、交通機関の使い方やマナーを習得。 ●危険物・危険個所の理解と対応。避難訓練。 ●生活におけるマネジメントスキルの育成 	言語コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ●あいさつや感謝の言葉。 ●会話を楽しみながら、コミュニケーション能力の向上を図る。 ●感じたことや考えたこと、自分の気持ちを言葉にして相手に伝える。 ●言葉での適切な表現方法を教えられ学ぶ。 ●相手の気持ちを考えて話すことができる。 ●相手の話を聞くことする意欲や態度を育てる。 ●絵本や物語に親しむ。 ●読み書き能力の向上。
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ●公園遊びやスポーツレク等の活動や遊びを通して、粗大運動の機能を高める。 ●制作や感覚遊び等の活動や遊びを通して、微細運動の機能を高める。 ●姿勢の保持や日常生活に必要な動作や道具を上手に使うことが出来るように支援。 ●遊びや活動を通して、視覚・聴覚・触覚・嗅覚・固有覚・前庭覚等の感覚を十分に活用する。 ●感覚の偏りに対する支援 	人間関係社会性	<ul style="list-style-type: none"> ●SST（ソーシャルスキルトレーニング）を通じて対人関係や社会生活に必要なスキルを身につける。 ●セルフコントロール（自分の感情と行動の調整ができる。） ●活動や遊びを通して社会のルールやマナーを習得する。 ●他者の気持ちを理解する。 ●物事のよし悪しが分かる。社会規範の基礎を身につける（嘘をつかない、人のせいにならない、人の物を盗まない等） ●情報モラルの学習。 ●社会情勢、社会の仕組みを知る。 ●進路や就労への意識を高める。 ●社会科見学。
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ●認知行動療法（こだわりへの対応、行動障害への予防・対応等） ●認知機能強化トレーニング。 ●数の概念。社会生活に必要な基本的な読み書き・計算スキルの獲得。こよみ、時刻と時間、長さ・重さ・広さ・かさ、お金の概念の習得。 		
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> ●アタッチメントの安定 ●家族の子育てに関する困りごとに対する相談援助。 ●こどもの発達上のニーズについての気づきの促しとその後の支援。 ●家族のレスパイトの時間の確保や就労等による預かりニーズに対応するための延長支援。 ●家族同士の交流の機会の提供。 ●こどもの発達状況や特性の理解に向けた相談援助。 ●必要に応じて本人や保護者の相談支援や関係機関との連携会議を行う。 	移行支援	<ul style="list-style-type: none"> ●移行先との調整、移行先との支援内容等の共有や支援方法の伝達、受け入れ体制づくりへの協力や相談援助への対応等の支援。 ●具体的な移行または将来的な移行を見据えて支援目標や支援内容を設定しての本人への発達支援。 ●進路や移行先の選択についての本人や家族への相談援助や移行に向けての様々な準備の支援。 ●移行先の見学調整を行います。 ●障害特性を踏まえた一貫した支援を行うため並行利用先や学校等と情報共有や支援内容等の擦り合わせを行う等の連携・支援
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> ●保育園、幼稚園、学校や放課後児童クラブ等との情報連携や調整、支援方法や環境調整に関する相談援助 ●個別支援計画書の作成、または見直しに関する会議の開催 ●医療機関との情報連携や調整 ●相談支援事業所や利用する他事業所との生活支援や発達支援における連携の取り組み ●個別のケース検討のための会議の開催 	職員の質の向上	<p>職員の知識・技術の向上を目的とし毎月1回の事業所内研修を実施する。また3カ月に1回の外部研修（動画研修・ZOOM研修を含む）を受講する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●子どもの発達段階、障害の特性を理解し適切に支援ができるような知識と技術を獲得するための研修 ●虐待防止や人権意識を高めるための研修 ●職員のメンタルヘルスのための研修 ●事例検討
主な行事等		<p>季節の行事／新年の誓い、書初め、伝統遊び、節分、バレンタイン、ひなまつり、メッセージカード作り、七夕、夏祭り、流しそうめん、虫取り、かき氷作り、水遊び、BBQ、ハロウィン、年賀状作り、クリスマス会、年越しそば、子ども忘年会</p> <p>主な活動／SST、スポーツレク、ヨガ、ゲーム、脳トレ、遠足、社会科見学、公園遊び、工作、ボーリング大会、乗馬体験、段ボール工作、お買い物学習、ポルダリング、駄菓子屋さん、クッキング、お誕生会、釣り体験、外食体験、実験、避難訓練、ミニ四駆、お習字、生き物図鑑、お仕事図鑑、バーチャル旅行、偉人伝説、こどもブックワールドタイムトラベル、大型絵本、感覚遊び、音楽遊び、児童館、図書館、ネットの使い方、アイロンビーズ、宿泊学習</p>		